

## パフォーマンススキッズ・トーキョー 新型コロナウイルス感染拡大予防について

### ■基本事項

- ・東京都における新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を的確に判断したうえで、その流行時期には感染症対策を徹底する。以下に、その感染症対策を記載する。
- ・実施にあたっては、主催者、事務局、アーティスト、各学校、各ホール、各児童養護施設等と事前に十分に打ちあわせをして、感染症対策を講じる。また、関係者間の情報共有に努め、緊急時の連絡先を共有する。
- ・その他、東京都及び各自治体、各教育委員会の指針や、「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（公益社団法人全国公立文化施設協会）、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～」（文部科学省）等に基づいて、実施の可否、実施内容を検討する。

### ■具体的な対策～ワークショップ、及び成果発表公演

- ・参加者の身体的距離を確保し、密集とならないような人数、会場等を適切に調整する。
- ・会場の換気を十分に行う。常時換気を基本とするが、やむを得ず窓を閉める場合は定期的に換気の時間を設定する。
- ・子供たち同士や、アーティストと子供との持続的な身体接触が発生しない内容を検討する。
- ・長時間の集団活動によるリスクを軽減するためスケジュールを調整する。
- ・長時間、近距離で対面形式となるようなグループワーク等は避ける。
- ・楽器・道具等を共有する場合は、実施前後の手洗いや消毒を推奨する。
- ・成果発表公演の観覧者は、感染拡大状況や会場の広さ等を十分に勘案して、その範囲や人数等を検討する。
- ・成果発表公演では、演者と観覧者、観覧者同士、演者同士の距離の確保に努める。
- ・昼食をはさむ場合は、食事前後の手洗いと消毒、座席配置の工夫や適切な換気の確保等の措置を講じる。

### ■具体的な対策～アーティスト・スタッフの対応

- ・アーティスト・スタッフは各自で検温を励行し、37.5℃以上の発熱があった場合（または平熱比1℃超過）や、息苦しさ（呼吸困難）・強いだるさや、咳・咽頭痛などの症状がある場合は来場しない。それに伴い、スタッフの変更やワークショップを中止または延期とする場合がある。
- ・普段から健康状態の把握に努める。
- ・手洗いや手指の消毒、咳エチケットを推奨する。
- ・必要に応じて施設の共用部分に、手指消毒用の消毒液を設置する。
- ・スタッフは必要に応じてマスクを着用する。
- ・ワークショップ中、アーティストに必要なに応じてマスクの着脱を依頼する。
- ・打合せは、換気の良い場所で、人と人が触れ合わない程度の一定の距離を保って実施する。
- ・マスク使用時にはできるだけフィルター性能の高い不織布マスクを推奨する。

■PKT ホールにおける、来場・参加者への依頼事項

- ・ 下記に該当する場合は、来場・参加を控えるよう依頼する。
  - (1) 37.5℃以上の発熱（または平熱比1℃超過）時、咳・喉の痛み等体調不良時
  - (2) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合、政府が定める一定期間内（最大過去14日間）に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合
  - (3) 同居家族等に新型コロナウイルス感染症と疑われる者がいる場合
- ・ 必要に応じたマスクの着用、咳エチケット、手指の消毒。
- ・ 入退場時には人と人が触れ合わない距離をとる。

以上

令和3年4月1日

令和4年4月20日更新

令和5年3月20日更新

特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち